



コロナワクチンは従来のワクチンとどう違うのですか？

今回開発されたコロナワクチンは、ウイルスそのものではなく、ウイルスの部品にあたるタンパク質の設計図(mRNA)が入っています。

その設計図をもとに、ヒトの体の細胞でウイルスのタンパク質の一部が作られ、さらにヒトが自ら作ったそのタンパク質に対する免疫がつくという仕組みになっています。



コロナワクチンにはどのような成分が入っていますか？

コロナワクチンに含まれるのは次の3つの成分だけです。

1. mRNA本体(タンパク質を作る設計図)
2. mRNAを包む脂質などの膜
3. 塩類と糖類、緩衝剤

これらの成分は、どれもこれまでにヒトの体に投与した経験があるもので、危険な物質は含まれていません。



このワクチンは、「遺伝子組換え技術」なのでしょうか？

今回のmRNAワクチンが遺伝子に組み込まれるということではなく、遺伝子組換え技術ではありません。



ワクチンのmRNAは体内に残りますか？

ワクチンのmRNAは細胞の中のタンパク質を合成する工場(リボソーム)で使われたあと、すぐに分解されてしまいます。



新型コロナウイルス
ワクチンQA
その1

詳しい情報を知りたい方は、

COV-Nav
ナビナビ
<https://covnavi.jp>





ワクチンは一年間で開発されましたが、安全なのですか？

今回のワクチン開発が早く進んだ理由は多くあります。例えば、今回のコロナウイルスに似ている2002年に流行した重症急性呼吸器症候群(SARS)の研究や、ウイルスの遺伝子の配列を調べる技術の進歩、mRNAワクチンに関する長年の研究の蓄積があったことがあげられます。

一方で、mRNAワクチンの安全性を評価する臨床試験は、従来のワクチンと比べても大規模であり、高い安全性が確認されています。



mRNAワクチンの有効性について教えてください。

mRNAワクチンの臨床試験では、ワクチンを受けなかった人と比べて、発症する確率が約95%減っていました。

ファイザー社のワクチンを受けた約60万人と、受けていない約60万人を比べたイスラエルの大規模な研究でも非常に高い有効性が報告されています。



mRNAワクチンの安全性について教えてください。

臨床試験では「打ったところの痛み」、「頭痛」、「発熱」などの副反応が確認されています。

これらの反応は免疫反応がしっかりと起こっていることを示すもので、2回目の接種のあとに多いです。

こういった症状は、接種して3日以内に始まり、1-2日で治まることがほとんどです。つらいときは解熱剤や痛み止めを使用しても問題ありません。

これらの副反応以外に、ごく稀に重いアレルギー症状(アナフィラキシー)が確認されています。



新型コロナウイルス
ワクチンQA
その2

詳しい情報を知りたい方は、

CoV-Nav
ナビナビ
<https://covnavi.jp>





花粉症や食物アレルギーがありますが、ワクチンを接種して大丈夫ですか？

花粉症や食物アレルギーがある方でも接種可能です。

厚生労働省は、他のものに対するアナフィラキシーを起こしたことのある方も接種してもよいとしています。



mRNAワクチンの接種を注意すべき人はどのような人ですか？

ファイザー社のmRNAワクチンの添付文書には、「mRNAワクチンの成分によってアナフィラキシーが起きたのが明らかな方」は接種しないように注意されています。



がん患者なのですが、接種しても大丈夫でしょうか？

がんの患者さんも接種可能です。

安全性には問題はありませんが、抗がん剤の治療等で免疫機能が低下している場合、ワクチンの効果が落ちる可能性があります。



接種2回目で、頭痛、関節痛、発熱などの副反応が出た時に、どうしたらよいのでしょうか？

ワクチン接種した後に、発熱や関節痛などのつらい症状が出た場合、解熱鎮痛剤を使用してもかまいません。

接種前に解熱鎮痛剤を飲むのは、ワクチンによって作られる免疫に影響を与える可能性があり、お勧めできません。ただし、持病のためにそうした薬を飲んでいる方は中止する必要はありません。



新型コロナウイルス
ワクチンQA
その3

詳しい情報を知りたい方は、

COV-Nav
ナビナビ
<https://covnavi.jp>

